

The Classic

どんなスタイルにもマッチするクラシックタイプ。

結局のところ長く飽きずに使える点ではクラシックなタイプが間違いのない選択であり、必ずひとつはおさえておきたいところ。革のパーツを使ったものなら使い込むほどに変わっていく表情も楽しみ。



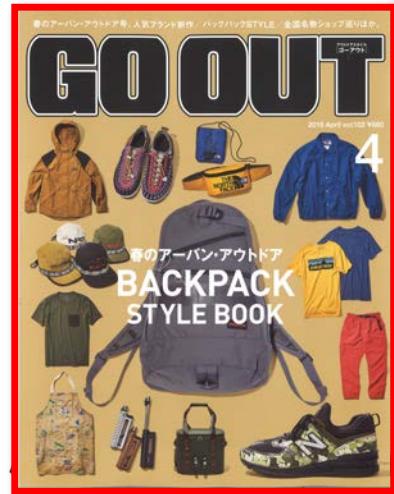
Eddie Bauer

コーデュラ製デニム×スエードの組み合わせが魅
力的な「キャンバスデニムバックパック」。チ
エストストラップは高さ調節可能なタイプ。16L。
¥12852 (エディー・バウアー・ジャパン)



L.L.Bean

米軍の經型ダッフルバッグを彷彿とさせる「ロッ
ギングパック」は2層構造で、ボトム部には840D
バリスティックナイロン素材を採用。30L。¥
16200 (L.L.ビーン カスタマーサービスセンター)



GO OUT 4月号



WALKABOUT BY SANPAK

1960年代に存在したバッグブランドを実名復刻し
たという今季の注目銘柄。こちらはクラシックな
織りネームが印象的なオールドスタイルモデル
「デイハイカー」。16L。¥10800 (三信製縫)



AS2OV

防水加工を施し、鞣しや染色など丹念に仕上げら
れた上質な北米産カウレザーを使った「ウォータ
ープルースエードデイパック」。PCスリーブも
装備している。21L。¥34560 (アンバイ PR)



MELO

超軽量な400Dパッククロスナイロン素材を使い、
鮮やかなネオンカラーで仕上げた定番のバックパ
ック。現在も多くのユーザーに愛用されており、
今でも立派。19L。¥11340 (マルショウエンゲンドウ)



OUTDOOR PRODUCTS

ブルー×レッドのバイカラーを霜降り調にアレン
ジした「デイパック」。背面とストラップにはメ
ッシュパッドを採用し快適な背負い心地を実現。
21L。¥7344 (キタムラトレードサービス)



KELTY

ありそうでなかった独特のフォルムを形成した
「ロックピークパック」。コーデュラナイロン素
材をまとい、内部にはPCスリーブも装備してい
る。30L。¥14040 (アリガインターナショナル)



BATTLE LAKE

1985年の創業以来、ミネソタ州の自社工場で生
産をし続ける同社。こちらはサイズやシリエット
をアレンジした日本企画の「レインボーバックパ
ック」。16L。¥15120 (メイデンカンパニー)